

宮崎県感染症週報

宮崎県健康増進課感染症対策室・宮崎県衛生環境研究所

宮崎県第49週の発生動向

□ 全数報告の感染症 (49 週までに新たに届出のあったもの)

1 類感染症：報告なし。2 類感染症：結核 4 例。3 類感染症：腸管出血性大腸菌感染症 1 例。
4 類感染症：つつが虫病 13 例、E 型肝炎 1 例、レジオネラ症 1 例。5 類感染症：報告なし。

	疾患名	報告 保健所	年齢群	性別	病型・類型	症状等
2類	結核	宮崎市	20歳代	男	肺結核	なし
			80歳代	女	肺結核	咳、痰、発熱、呼吸困難
			80歳代	男	肺結核	咳、痰
		小林	70歳代	女	肺結核	咳、便潜血、胃のむかつき
3類	腸管出血性大腸菌 感染症	都城	0~4歳	女	—	腹痛、水様性下痢、血便、 O26(VT型不明)
4類	E型肝炎	延岡	40歳代	男	—	全身倦怠感、肝機能異常
	レジオネラ症	宮崎市	70歳代	男	肺炎型	肺炎

	疾患名	報告 保健所	報告数				症状
				60歳代	70歳代	80歳代	
4類	つつが虫病	宮崎市	2例		1	1	頭痛、発熱、刺し口、 リンパ節腫脹、発疹等
		都城	2例		2		
		延岡	1例	1			
		日南	1例		1		
		小林	5例		2	3	
		高鍋	2例		1	1	

《前週との比較》

□ 定点把握の対象となる 5 類感染症

・定点医療機関からの報告総数は 643 人(定点当たり 18.8)で、前週比 129%と増加した。なお、前週に比べ増加した主な疾患はRSウイルス感染症とA群溶血性レンサ球菌咽頭炎で、減少した主な疾患はヘルパンギーナであった。

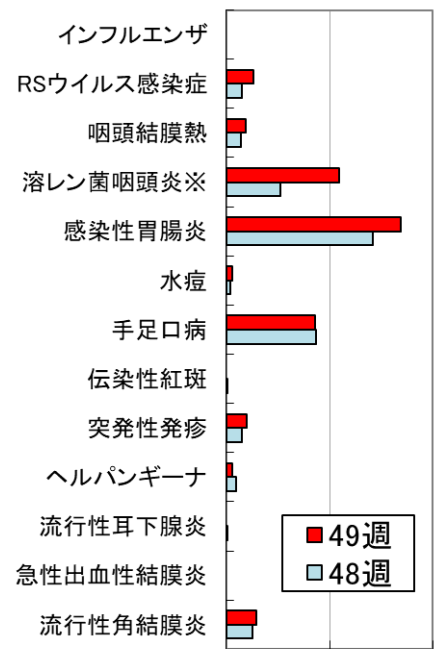
★インフルエンザ・小児科定点からの報告★

【A群溶血性レンサ球菌咽頭炎】

報告数は 158 人(4.4)で、前週比 211%と増加した。例年同時期の定点当たり平均値* (1.2)の約 1.6 倍であった。日南(42.7)、中央(4.0)保健所からの報告が多く、年齢群別は別グラフに示す。

【手足口病】

報告数は 124 人(3.4)で、前週比 99%とほぼ横ばいであった。例年同時期の定点当たり平均値* (1.2)の約 2.8 倍であった。都城(9.2)、小林(5.7)、高鍋(3.5)保健所からの報告が多く、年齢群別は6ヵ月から2歳が全体の約8割を占めた。

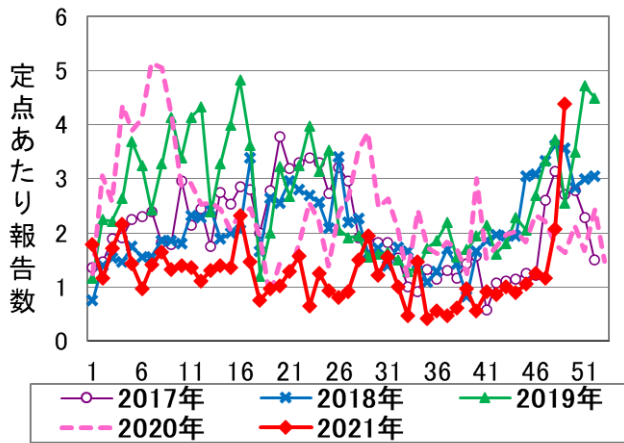


* 過去5年間の当該週、前週、後週(計15週)の平均

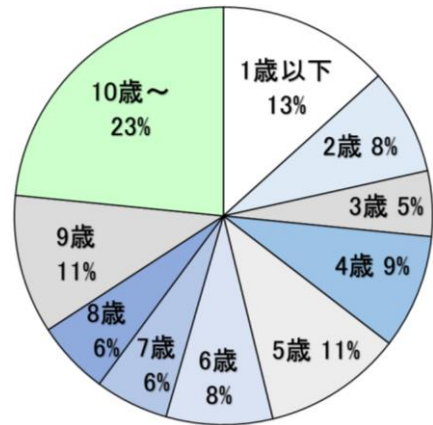
0 4 8
定点あたり報告数

※ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

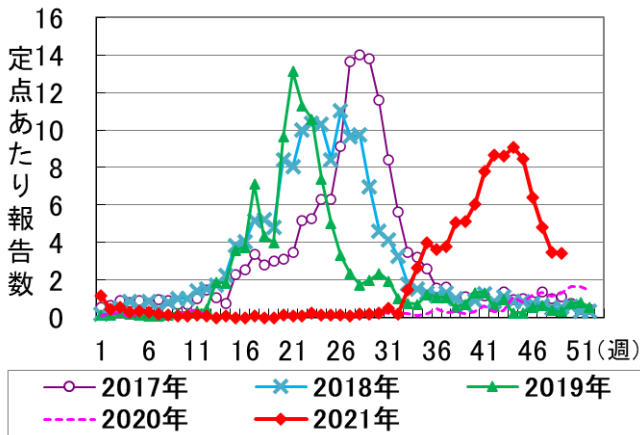
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 発生状況



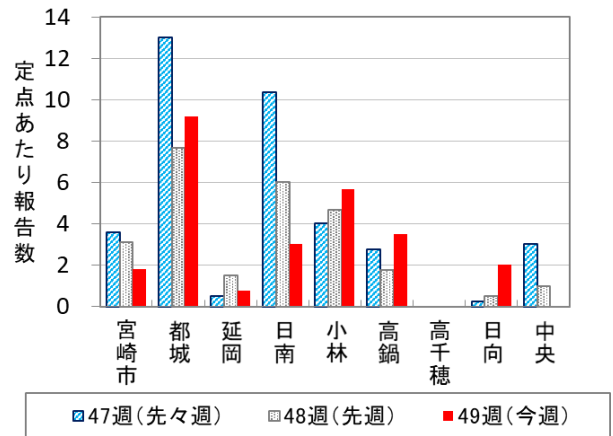
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 年齢群別グラフ(第49週)



手足口病 発生状況



手足口病 保健所別推移(3週分)



★基幹定点からの報告★ なし。

★保健所別 流行警報・注意報レベル基準値以上の疾患★

保健所名	流行警報・注意報レベル基準値以上の疾患
宮崎市	なし
都城	手足口病(9.2)
延岡	なし
日南	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎(42.7) 水痘(1.0)
小林	手足口病(5.7)
高鍋	なし
高千穂	なし
日向	なし
中央	なし

* 流行警報レベル開始基準値 *

- ・A群溶血性レンサ球菌咽頭炎(8)
- ・手足口病(5)

* 流行注意報レベル基準値 *

- ・水痘(1)

🇯🇵 全国 2021 年第 48 週の発生動向

□ 全数報告の感染症

1類感染症	報告なし					
2類感染症	結核	256 例				
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	29 例				
4類感染症	E型肝炎	7 例	A型肝炎	1 例	つつが虫病	50 例
	デング熱	1 例	日本紅斑熱	2 例	レジオネラ症	35 例
5類感染症	アメーバ赤痢	14 例	ウイルス性肝炎	4 例	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	29 例
	急性弛緩性麻痺	1 例	急性脳炎	6 例	クロイツフェルト・ヤコブ病	2 例
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	14 例	後天性免疫不全症候群	11 例	侵襲性インフルエンザ菌感染症	3 例
	侵襲性肺炎球菌感染症	26 例	水痘（入院例）	9 例	梅毒	121 例
	播種性クリプトコックス症	4 例	破傷風	1 例	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	2 例
	百日咳	25 例	風しん	1 例		

□ 定点把握の対象となる 5 類感染症

定点医療機関当たりの患者報告総数は前週比 115%と増加した。なお、前週と比較して増加した主な疾患はA群溶血性レンサ球菌咽頭炎と感染性胃腸炎で、減少した主な疾患は手足口病であった。

感染性胃腸炎の報告数は16,530人(5.2)で前週比129%と増加した。例年同時期の定点当たり平均値*(7.7)の約0.7倍であった。埼玉県(9.1)、長崎県(9.0)、福岡県(8.7)からの報告が多く、年齢群別では1歳から4歳が全体の約6割を占めた。

手足口病の報告数は3,860人(1.2)で前週比87%と減少した。例年同時期の定点当たり平均値*(0.69)の約1.8倍であった。鹿児島県(6.4)、香川県(4.9)、島根県(3.6)からの報告が多く、年齢群別では1歳から2歳が全体の約7割を占めた。

* 過去5年間の当該週、前週、後週（計15週）の平均

📊 月報告対象疾患の発生動向 <2021年11月>

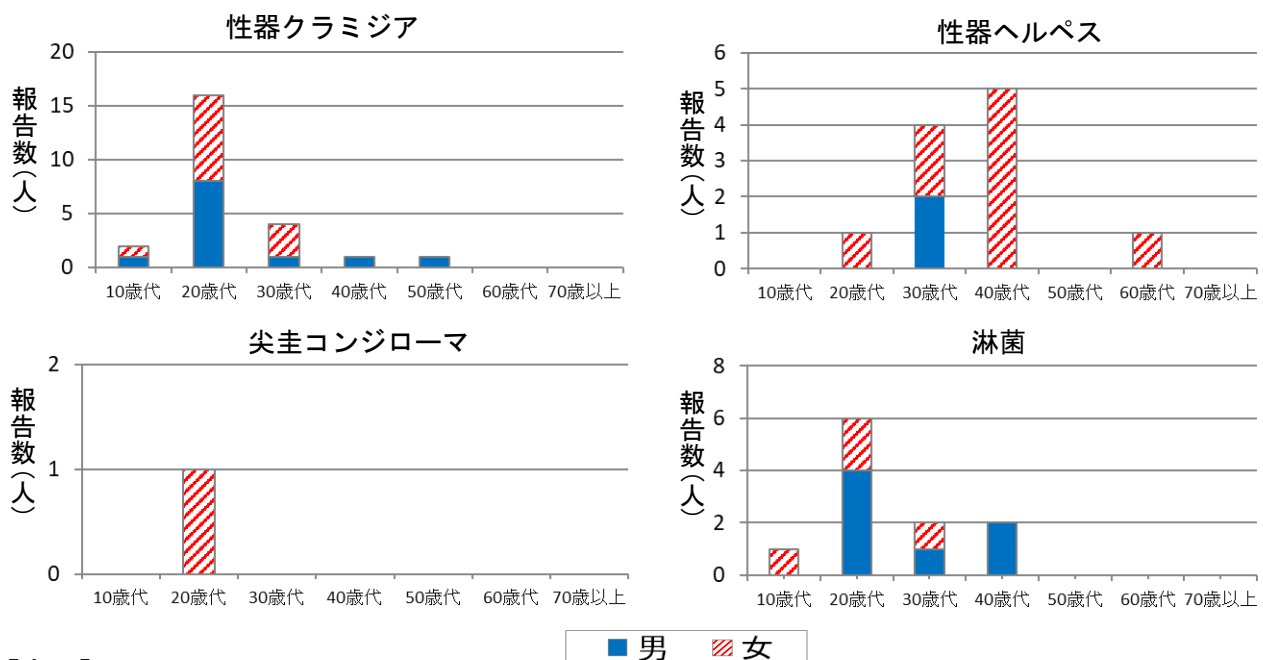
□性感染症

【宮崎県】 定点医療機関総数：13

定点医療機関からの報告総数は47人(3.6)で、前月比138%と増加した。また、昨年11月(3.8)とほぼ同率であった。

《疾患別》

- 性器クラミジア感染症：報告数24人(1.9)で、前月の約1.3倍、昨年11月の約0.9倍であった。
20歳代が全体の約7割を占めた。(男性12人・女性12人)
- 性器ヘルペスウイルス感染症：報告数11人(0.85)で、前月と同率、昨年11月の約0.9倍であった。(男性2人・女性9人)
- 尖圭コンジローマ：報告数1人(0.08)で、前月の約0.3倍、昨年11月の0.5倍であった。(女性1人)
- 淋菌感染症：報告数11人(0.85)で前月の約5.5倍、昨年11月の約1.4倍であった。(男性7人・女性4人)



【全国】

定点医療機関からの報告総数は4,694人(4.8)で、前月比98%とほぼ横ばいであった。疾患別報告数は、性器クラミジア感染症2,491人(2.5)で前月比97%、性器ヘルペスウイルス感染症819人(0.83)で前月比105%、尖圭コンジローマ479人(0.49)で前月比96%、淋菌感染症905人(0.92)で前月比98%であった。

□薬剤耐性菌

【宮崎県】 定点医療機関総数：7

定点医療機関からの報告総数は21人(3.0)で、前月比124%と増加した。また、昨年11月(2.6)の117%であった。

《疾患別》

- メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症：報告数21人(3.0)で、前月の約1.3倍、昨年11月の約1.2倍であった。60歳以上が全体の約8割を占めた。
- ペニシリン耐性肺炎球菌感染症：報告なし。
- 薬剤耐性緑膿菌感染症：報告なし。

【全国】

定点医療機関からの報告総数は1,249人(2.6)で、前月比97%とほぼ横ばいであった。疾患別報告数は、メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症1,166人(2.4)で前月比97%、ペニシリン耐性肺炎球菌感染症68人(0.14)で前月比108%、薬剤耐性緑膿菌感染症15人(0.03)で前月比75%であった。

宮崎県 感染症情報

(72定点医療機関)

2021年 第49週(12月06日～12月12日)

疾病名		第48週	第49週	宮崎市	都城	延岡	日南	小林	高鍋	高千穂	日向	中央
インフルエンザ	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
RSウイルス 感染症	報告数	22	38	6	17		11					4
	定点当り	0.61	1.06	0.60	2.83	0.00	3.67	0.00	0.00	0.00	0.00	4.00
咽頭結膜熱	報告数	20	27	9	10	6			1			1
	定点当り	0.56	0.75	0.90	1.67	1.50	0.00	0.00	0.25	0.00	0.00	1.00
A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	報告数	75	158	20	1	3	128		2			4
	定点当り	2.08	4.39	2.00	0.17	0.75	42.67	0.00	0.50	0.00	0.00	4.00
感染性胃腸炎	報告数	204	244	54	50	4	18	53	17	3	31	14
	定点当り	5.67	6.78	5.40	8.33	1.00	6.00	17.67	4.25	3.00	7.75	14.00
水痘	報告数	6	8	3	1		3	1				
	定点当り	0.17	0.22	0.30	0.17	0.00	1.00	0.33	0.00	0.00	0.00	0.00
手足口病	報告数	125	124	18	55	3	9	17	14		8	
	定点当り	3.47	3.44	1.80	9.17	0.75	3.00	5.67	3.50	0.00	2.00	0.00
伝染性紅斑	報告数	1										
	定点当り	0.03	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
突発性発しん	報告数	22	29	11	6	6	2		1		2	1
	定点当り	0.61	0.81	1.10	1.00	1.50	0.67	0.00	0.25	0.00	0.50	1.00
ヘルパンギーナ	報告数	14	8		8							
	定点当り	0.39	0.22	0.00	1.33	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
流行性耳下腺炎	報告数	1										
	定点当り	0.03	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
急性出血性結膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00						
流行性角結膜炎	報告数	6	7	6		1						
	定点当り	1.00	1.17	2.00	0.00	1.00						
細菌性髄膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
無菌性髄膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
マイコプラズマ 肺炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
クラミジア肺炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	

インフルエンザ定点:59、小児科定点:36(インフルエンザ定点を兼ねる)、眼科定点:6、基幹定点:7

●全数把握対象疾患累積報告数(2021年第1週～49週)

2類感染症	結核	123例(4)		
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	27例(1)		
4類感染症	E型肝炎	5例(1)	重症熱性血小板減少症候群	13例
	日本紅斑熱	19例	レジオネラ症	11例(1)
5類感染症	アメーバ赤痢	2例	ウイルス性肝炎	3例
	クリプトスポリジウム症	2例	クロイツフェルト・ヤコブ病	1例
	後天性免疫不全症候群	5例	侵襲性インフルエンザ菌感染症	4例
	水痘(入院例)	4例	梅毒	79例
	破傷風	7例	百日咳	2例
新型インフルエンザ 等感染症	新型コロナウイルス感染症	5264例		

()内は今週届出分、再掲